

交流公演

しまね伝統芸能祭2025



古来から脈々と受け継がれ、人々の心をつかみ続けてきた地域芸能が県内外から集い、謡い、舞い、踊り交わします。鳥取から因幡麒麟獅子舞を迎え、石見神楽、安来節が登場！地域芸能の今、そして未来への期待を感じるひとときをお楽しみください。

SHIMANE DENTOU GEINOUSAI

2025. **9.28** 日
13:30開場
14:00開演

安来節演芸館【全席自由】

定員
200名

1,000円 (税込)
高校生以下 500円 (税込)

チケット発売

8.9 ±
10:00~

プレイガイド

【県外団体】
芦津獅子舞保存会(鳥取県・智頭町)
【県内団体】
石見神楽温泉津舞子連中(島根県大田市)
一字川耕士と仲間たち
(安来節保存会)(島根県安来市)

【松江市】島根県民会館チケットコーナー
【安来市】安来節演芸館、
安来市総合文化ホール アルテピア
【WEB】オンラインチケット「シマチケ」

安来節の「土地で、
霊獣・麒麟が舞い、
大蛇が舞い。」

【お問合せ】島根県民会館文化事業課 TEL:0852-22-5502 休館日/第2・4月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)、8.26臨時休館
安来節演芸館 TEL:0854-28-9500 休館日/火曜日(祝日の場合は翌日)

【主催】公益財団法人しまね文化振興財団(島根県民会館・いわみ芸術劇場)、島根県
【共催】安来節演芸館 【助成】一般財団法人 地域創造

県外団体

芦津獅子舞保存会

(鳥取県・智頭町)



虫井神社の獅子舞は大正5年から10年にかけて行われた大遷宮の折に、芦津地区の青年達を手下で使っていた宮大工の棟梁が因幡一ノ宮の宇部神社に麒麟獅子舞を習いに行かせ、免許皆伝をもらい帰って来た後に獅子舞を虫井神社に奉納したのが始まりとされています。芸態は因幡の麒麟獅子舞の典型を示す厳肅・荘重・能舞的なものです。

舞い手は狸々・獅子前・後かなり、楽団は太鼓1名、鉦1名、笛数名程度から構成されています。

当社の獅子は、緑・赤・黒の三色の縞模様の蚊帳を使用しており、これは他社には見られない古態の一つです。

毎年10月の第二日曜日の芦津神社例祭と11月3日の虫井神社例祭においてそれぞれ神社に麒麟獅子舞を奉納しています。

また、平成12年(2000年)には小学生を対象に子ども獅子を制作し後進の育成にもあたっており、親獅子とともに神社に獅子舞を奉納しています。

県内団体

一字川耕士と仲間たち

安来節保存会(島根県安来市)



演目 唄、銭太鼓、どじょうすくい踊り ほか

安来市は古くから鉄や米の積出港として栄え、元禄の頃に北前船の船頭たちによって、全国の追分、おけさなどの民謡や、田植歌、船歌などが盛んに交流しました。それに独創性を加えた「さんこ節」をさらに改良して、安来節の原型ができたといわれています。

明治44年に安来節の保存、継承、その振興と日本民謡文化の発展に寄与することを目的に安来節保存会が創設されました。現在では、全国に53支部、会員数は約1,800名の日本有数の民謡組織となっています。

出演する一字川耕士さんは絃の大師範で、皆さんが有資格者です。

交流公演

しまね伝統芸能祭2025



石見神楽温泉津舞子連中

(島根県大田市)



写真:高田率

演目 「神祇太鼓(じんぎだいこ)」

神迎え、神降ろし、神遊びのありさまを、胴(太鼓)を中心とした囃子のみで展開する曲目。

「大蛇(おろち)」

須佐之男命(すさのおのみこと)は、出雲国「斐伊川」上流にて毎年現れる八岐大蛇に悩まされている老夫婦と娘に出会う。命は娘との結婚を条件に、この大蛇を退治することを約束し、十束剣を持ってこの大蛇を退治する。

島根県西部地方の伝統芸能「石見神楽」浜田系八調子神楽の習得、継承を行う。平成9年、温泉津(ゆのつ)に神楽社中を作ろうと、地元の若者が集まり結成。当初は「温泉津町神楽同好会」という名称で、地元の敬老会やイベントなどで神楽を披露。平成14年には、温泉津町石見神楽振興会の援助によって神楽幕を購入し、その際「神楽の原点を失わないように」と古い神楽団の呼び名である舞子連中の呼称を用い、「石見神楽温泉津舞子連中」に改名しました。

地元神社例大祭での神楽奉納を始めとし、自主公演「海神楽」、「新春神楽」を開催。当団の創作演目に龍御前(たつのごぜん)神社の威徳をテーマにした「龍神」、八岐大蛇(やまたのおろち)の後日談を描いた「八面(やつおもて)」があります。

安来節演芸館までのアクセス



無料駐車場あり

安来節演芸館前: 38台(障がい者用1台)
第2駐車場: 102台

開催 千軒楽市(マルシェ)

10:00~16:00

詳しくは
安来節演芸館HPを
ご確認ください。

伝統×未来

しまね伝統芸能祭2025

原点を見つめ、
ともに歩み、未来を拓く

島根県民会館(松江市)といわみ芸術劇場(益田市)が協力し、伝統芸能を“未来”に繋げていくために、次代を担う高校生たちによる発表公演や県内外の伝統芸能を紹介する交流公演、地域芸能を活かした舞台作品の創作など、様々な催しを開催します。

4.27
日

オープニング公演

『渡来バード、ドライバー』

会場: 島根県芸術文化センター「グラントワ」中庭 水盤

出演: 大口俊輔(音楽家)、福原千鶴(小鼓奏者)、志人(語部)、中山晃子(画家)

9.15
日

高校生神楽

フェスティバル

島根が誇る伝統芸能“神楽”。神楽をこよなく愛し、真摯に向き合う高校生たちによる高校生が主役のフェスティバル!

会場: 島根県民会館 中ホール

出演: 島根県内の「神楽」を部活動・同好会として行っている全7校

9.28
日

伝統芸能交流公演

会場: 安来節演芸館

11.23
日

クロージング公演

『サクヤコノハナ 魂神楽』

会場: 島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール